

(個人)

(報告：田中)

**燕岳 (2,763m) 北アルプス**

**【日時】** 平成25年10月14日 (月)

**【メンバー】** P & L 田中

(計 1 名)

**【行動記録】**

大宮 (0時37分) — 川島 IC — (圏央道・中央道) — 豊科 IC — 中房 P (5時46分) … 合戦小屋 (8時40分) … 燕山荘 (9時52分) … 燕岳 (10時31分~10時45分) … 燕山荘 (11時6分) … 富士見ベンチ (12時7分) … P (13時47分) — 中房温泉 (泊) — 豊科 IC — 川島 IC — 大宮 …

上り 4時間3分 下り 2時間34分 計6時間37分

**【装備・食料等】**

**【個人】** ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、ツエルト、水、朝・昼食、(軽アイゼン、ストック) …

**【感想】**

槍ヶ岳矢村線に入り、曲がりくねった道を30分近く走り、明け方近く中房温泉に着く。120台停まれる無料駐車場は、満車状態。道路脇、駐車場通路にも車が溢れていた。それでもなんとか停めることができた。明るくなると、人影が動き始め、私も登山口へと足を進めた。北アルプス表銀座コースの起点であり、白い砂礫と緑のハイマツのコントラストが美しい人気の山らしく、終始ハイカーで賑わっていた。人で溢れた合戦小屋を過ぎると、やがて大天井岳の稜線越しに槍の姿が見え始めた。灌木帯を抜け、葉のすっかり落ちた白いダケカンバの樹林の間から、はるか彼方に燕山荘の建物が小さく見える。おもちゃのようだ。その左手に燕岳、北燕岳と白い岩峰の頂が続いている。出発時間が早かったので、燕山荘に10時前に着いてしまった。日帰りが可能となったので、燕山荘の宿泊を取り消し、山頂に向かった。槍ヶ岳を背に、花崗岩の岩塔を縫いながら砂礫の稜線を行く。左手に鷲羽岳、野口五郎岳の山々が連なっている。小屋に一泊して、北燕岳、東沢乗越を回るコースも考えたが、台風26号の影響が懸念されたので早く下りることにした。

